

社会資本整備審議会道路分科会 第50回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和7年12月17日（水） 11:00～12:00

2. 場 所

東北地方整備局 13階 水災害予報センター（仙台合同庁舎B棟）

3. 出席委員

井岡 佳代子	東北学院大学 経営学部 経営学科 准教授
小笠原 孝史	一般社団法人 東北経済連合会 専務理事
葛西 誠	秋田工業高等専門学校 土木・建築系 空間デザインコース 教授
菊池 輝	東北工業大学 工学部 都市工学課程 教授
宮原 育子	宮城学院女子大学・宮城大学 名誉教授
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授
若菜 千穂	特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事

4. 議事内容

□審議結果

【盛岡秋田道路（生保内～卒田）】計画段階評価（3回目）

- ・ 審議内容は概ね妥当と判断された。
- ・ 対策方針（案）【A案（バイパス案）】は妥当と判断された。

□主な意見

- A案（バイパス案）が整備されると、現道の交通量の減少に伴い事故は減るかと思われるが、現道の歩行者の安全性にも配慮いただきたい。
- アンケートだけでは把握しきれない意見を収集するため、現場で直接ユーザーの声を聴く機会は非常に重要。特に高齢化により運転者が減少する中、日常的に車を運転する方々の意見を伺う方法については、アンケートに加えて他の手法も検討すべき時期に来ている。今後も対面での意見聴取を積極的に進める方向で検討いただきたい。
- 今後の検討にあたっては、中央分離帯や除雪時の路肩堆雪、さらには熊などの野生動物への対応も考慮し、円滑で安全・安心な道路となるよう取り組んでいただきたい。
- アンケート調査について、量的データをどう評価し、個々の意見などの質的データをどのように活用するかについては、今後、議論する必要がある。
- 盛岡秋田道路については、道路と鉄道の冗長性を踏まえ、地元住民のみならず東北地方全体、さらには観光を含めた国民にとって、日本のネットワーク基盤を支える重要な路線となるよう、検討を進めていただきたい。